衛生学公衆衛生学　小テスト

2011 年 4 月 18 日（月）3 時間目　公衆衛生学 5（感染症）

以下の各設問に対し，右回答欄の選択肢に〇を 1 つつけなさい
右の回答欄に記載が無い場合は採点の対象となりません

学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回　答　欄	
問題 1	a b c d e
問題 2	a b c d e
問題 3	a b c d e
問題 4	a b c d e
問題 5	a b c d e
問題 6	a b c d e
問題 7	a b c d e
問題 8	a b c d e
問題 9	a b c d e
問題 10	a b c d e

問題 1　感染症法で 1 類に分類されないのはどれか

a.　エボラ出血熱　b.　クリミア・コンゴ熱　c.　ペスト

d.　ラッサ熱　ⓔ.鳥インフルエンザ（H5N1）→2 類感染症

問題 2　感染症法で 2 類に分類されるのはどれか

a.　コレラ　b.　細菌性赤痢　c.　腸管出血性大腸菌感染症

d.　腸チフス　ⓔ.　結核　→他は全て 3 類感染症

問題 3　感染症の届け出について誤っているのはどれか

a.　結核は診断後直ちに届け出る

ⓑ.　届け出必要時には直接都道府県知事に届け出る　→最寄りの保健所長を経由

c.　後天性免疫不全症候群（AIDS）は 7 日以内に届け出る→5 類感染症は 7 日以内

d.　新型インフルエンザ等感染症は診断後直ちに届け出る

e.　新感染症疑いは診断後直ちに届け出る

問題 4　感染症への対応等について誤っているのはどれか

a.　1 類感染症は原則入院、医療保険適用で残額は公費負担

b.　新感染症の医療費は全額公費負担

ⓒ.　都道府県知事は 4 類感染症の患者に入院を勧告できる　→1、2 類感染症と新型インフルエンザ等感染症

d.　腸管出血性大腸菌感染症は都道府県知事による入院勧告の対象にならない　→3 類は対象外

e.　マラリアは届け出の必要はあるが入院勧告の対象にならない　→マラリアは 4 類感染症

問題 5　日本で毎年 3 万人前後の患者が新たに発生しているのはどれか

a.　エイズ　b.　腸管出血性大腸菌　ⓒ.　結核　d.　マラリア　e. 梅毒

問題 6　結核に関して誤っているものはどれか

a.　多剤耐性菌の出現が問題になっている

b.　平成 9 年より 3 年連続増加、11 年以降減少しているが減少率は鈍化

ⓒ.　最近の日本の結核罹患率は先進国の中では低い部類に入る　→高い

d.　結核患者の高齢化が問題となっている

e.　平成 18 年に結核予防法は廃止され感染症法に統合された

問題 7　感染成立の要因とその対策について誤っている組み合わせはどれか

a.　感染源　―　早期発見

b.　感染源　―　休校・休業

ⓒ.　感染経路　―　入院隔離　　→感染経路への対策は消毒、駆除、休校・休業等

d.　感受性　―　予防接種

e.　感受性　―　流行予測

問題 8　次のうち定期予防接種の対象でないものはどれか

a.　ジフテリア　ⓑ.　水痘　c.　風疹　　d.　破傷風　e. 結核　　→水痘は任意接種

問題 9　次のうち予防接種法の 1 類疾病でないものはどれか

a.　麻疹　b.　結核　c.百日咳　　d.　ポリオ　ⓔ. インフルエンザ　→　2 類疾病

問題 10　次のうち，検疫感染症でないものはどれか

a.　新型インフルエンザ等感染症　　b.　南米出血熱　c.　マラリア

d.　鳥インフルエンザ　ⓔ.　コレラ